

第62回
日本腹部救急医学会総会

会期 2026年**3月12日(木)・13日(金)**
 会場 **パシフィコ横浜**
 会長 **谷合 信彦** 日本医科大学 武蔵小杉病院 院長



今回の『継往開来』ではありますが、教えを下さった外科医のお一人が今年度で外科学教授としては退官されます。一貫して大学人として歩まれたとても素敵な先生であり、目標とすべき先生です。これからも少しでも近づける様、研鑽を続けたいと考えております。長い間、本当にお疲れ様でした。

院長 上野琢哉

横浜での学会に参加してきました。

本学会は外科だけでなく救命救急や放射線科、婦人科、泌尿器科等の腹部臓器に関わる医療スタッフ、チームで構成されている横断的な団体で、外科領域では重要な学会の一つです。

自身もこれまで学会賞や理事長賞の受賞（慶應外科 北川教授と：右下）を含め、評議員として学会の方向性につき検討させて頂いておりました。

評議員会では様々な角度から 腹部救急に関する検討を行いました。腹部救急は外科の基本であり、多くの命を救える一方で、その逆もあります。

これまで多くの腹部救急患者さんへの手術やICU管理を行ってきました。その基盤には多くの外科の先人達の教えがありました。今こそ動画で多くの手術学習は可能ですが、研修医時代では先輩方の手術手技をオペ場に入ってよく見学していました。

